15

ドン
ドン
ドン
なんてこったいな 勉強会の時間ッス
うおおお

ウッ
まだだ…！
まずい…
お前はもう用済みだ
ヒヒヒ
ボロボロ
ボロボロ
ボロボロ

だって、俺はいつだってかなりの中立だ
アンタの体は完全なる悪に支配される前に
俺の中にあいつがいる…
…はっ
そっちいってこそ!
わかってるよ!
俺の中にはロイって人物がいる
俺はロイとは違う
俺はロイとは別人だ
俺はロイとは別人だ
俺はロイとは別人だ
俺はロイとは別人だ
でも
これでスッキリ
アンタには礼を言うよ
ロイ
ロイ
ロイ

まさか奥様が本当に
二度と忘れんなよ
いいか、俺の目の前で見えない所でどこの馬の骨だか知らねぇ野郎に殺されやがって
俺に許可なく死ぬんじゃねぇ
付け入る隙を与えんな
テメェエで奪われてえ
もしお前が本当に目的を見失いつつあるんだったら
エ、ヘヘ、
お前を殺すだけだがな
その中の一人が「アルケー」なんだな？
俺はもう
大丈夫だ
もう忘れない
エルケーがいない俺の中にいて？
お前は人間じゃねぇ
俺が人間じゃなくなっても
それでも
俺は俺だから
俺はもう
エルケーにはならない
これが俺の出した答えだ
ハルケ！ハルケ！ハルケ！
アンタ！ハルケ！ハルケ！
ハルケ！ハルケ！ハルケ！
ハルケ！ハルケ！ハルケ！
ハルケ

わかってる たしかにアイツは危ない奴だ 散々俺に脅しをかけてきたしな

どんな奴なのかも 何をしようとしてんのかも 何もかもわからねぇ 不気味なヤローだ

お前らが倒そうとするのもわかる

けどな

あいにく俺の目的も

エルフのヤローをぶっ倒すことなんだよ

TO BE CONTINUED